

季刊

社会福祉法人  
名古屋市総合リハビリテーション事業団

# オレンジロード

ORANGE  
ROAD

2021年  
夏号  
vol.29

## INDEX

- ◆ 新年度を迎えて
- ◆ 事業団スローガン制定
- ◆ 令和3年度事業計画の概要
- ◆ 高次脳機能障害  
リハビリテーション講習会開催
- ◆ リハビリテーション研究基金について
- ◆ 募集・事業所案内

事業団公式マスコットキャラクター  
リはみん



発行：季刊オレンジロード編集委員会



# 新年度 **を** 迎えて

新型コロナウイルスという得体の知れないものに翻弄された令和2年度が終わり、令和3年度が始まりましたが、新型コロナウイルスに関しては、まだまだお付き合いを続けなければならない状況です。職場も、家庭も、地域社会も、どこでも新型コロナウイルス対策を求められ『コロナ疲れが蓄積!!』という方

も多いかもしれません。しかし、それでも、新型コロナウイルス感染防止対策は継続することが重要です。5月13日現在、愛知県も再び緊急事態宣言が発令されている状況です。職員一同、日常生活も含め、改めて気を引き締めて対応してまいります。皆さまのご理解ご協力よろしくお願いたします。

## コロナで気分も減入りがちななか、 スポーツ関連では**明るいニュース**が続いています

- 水泳の池江璃花子選手は1年7カ月の闘病による休養から実戦復帰して約8カ月、リレー種目ではあるもののオリンピック代表に内定。
- ゴルフの松山英樹選手はマスターズ優勝。
- アメリカ大リーグの大谷翔平選手は完全二刀流から三刀流でも出場。投手としても、打者としても、その活躍が高く評価されている。
- テニスの大坂なおみ選手が、スポーツ界のアカデミー賞と称される「ローレウス世界スポーツ賞」で年間最優秀女子選手賞を獲得。

どの選手も、吉報の裏では想像できないほどの努力を重ねたものと思いますが、池江選手の「**努力は必ず報われる**」という言葉は、特に強く心に残りました。

等々。

さて、事業団はというと、令和2年度に総合リハビリテーションセンター指定管理者の中間評価が行われ「同一センターで、相談・福祉を総合的一体的に一貫して提供している効果が表れている」と高評価をいただいた部分と「収支状況や運営の効率化など改善を要する」と指摘された部分があります。今年度以降、課題対応が急務となります。

その一環として、7月に「なごや高次脳機能障害支援センター」を立ち上げることをしています。これは、**①高次脳機能障害に関する広報・啓発・普及効果を増大させること****②それにより支援を必要とする方**

**らの早期の相談・支援につなげること****③地域での支援体制充実を意識した事業展開を実施する**など、これまで事業団が長年にわたって取り組んできた高次脳機能障害支援に関し、さらに充実・発展させることを意図したものです。

そのほかでも「総合リハビリテーションセンターの特徴を活かしたサービスの充実」といったキーワードを意識した事業展開を行う必要があると考えます。職員一人ひとりの意識のさらなる向上、企画・提案にも期待しつつ、課題対応を進めてまいります。

(事務局長 鳥山 みち子)

令和2年11月から事業団スローガンを募集し、決定いたしました!

## 事業団スローガン制定

### 今回スローガンを定めるようになった経緯

スローガンは強いメッセージを端的、かつ効果的に伝えることができるため、多くの企業で活用されています。事業団は内外への広報力を高めていくことが求められており、スローガンを制定することで、事業団のプロ

モーションの役割の一翼を担うことができるのではないかと考えています。事業団が運営するリハビリテーションセンターの基本理念を念頭に置き、スローガンを掲げたいと思い、職員から募集しました。

### 基本理念

- 総合リハビリテーションセンターは、心の通いあいを大切にしたりハビリテーションをめざして、基本理念を定めます。
- 総合リハビリテーションセンターは、利用者の意向の尊重、利用者の尊厳の保持を基本として、社会的自立を支援するように努めます。
- 附属病院は、真心を込めた、親切かつ丁寧な対応をすることを旨に、インフォームドコンセントの理念を推進し、患者様の信頼が得られる医療を提供するように努めます。また、先進医療技術を駆使して総合的なリハビリテーション医療を提供するように努めます。
- 福祉施設は、障害のある方の持てる力と可能性を追求することを旨に、共に生活し活動していくノーマライゼーションの理念を推進し、利用者本位の最適な訓練サービスを提供するように努めます。
- スポーツ施設は、健康で快適な暮らしを応援することを旨に、健康づくりや地域のコミュニケーションづくりの場を提供するように努めます。



### 最優秀賞 (公式スローガン)

あなたの「らしさ」をかたちに



### 優秀賞 (2作品)

自分らしく生きるために

あなたの一步をささえます。

最優秀賞を公式スローガンとし、基本理念とともに共通の思いとして掲げていきます。

# 令和3年度 事業計画の概要

令和3年度の事業計画が、3月22日に開催された理事会にて決定されました。

第4次経営戦略計画の計画期間の2年目にあたる令和3年度の事業展開にあたっては、次の事項を重点事項として取り組みます。

新型コロナウイルス感染症の影響で大きく社会の在り方が変わる中、事業団も新たな取り組みへの挑戦を進めつつ、地域における支援体制の確立に向けてリハビリテーションや障害者福祉の中核施設としての役割を果たしてまいります。加えて、事業運営のさらなる効率化と、効果的な経費の執行に努めていきます。

## 1 「なごや高次脳機能障害支援センター」の設置について

高次脳機能障害支援の課題として、新規利用者のうち約半数が発症・受傷後1年以上経過している状況や、連携先の地域医療機関が少ない状況があります。この状況を改善するため、また名古屋市をはじめとした地域で同障害者を支援していくための仕組みづくりを意識した

事業展開を行うため、名古屋市と協議のうえ、令和3年度において「なごや高次脳機能障害支援センター」を設置します。これまで行ってきた取り組みに加え、新規事業や既存事業の拡充を図ります。

## 2 大規模工事の実施

リハビリテーションセンターにおいて、令和2年10月から始まった空調設備（ファンコイルユニット）の更新による大規模工事が、順調に進んでいます。令和3年度はさらに受変電設備工事も加わります。相談室や外来周辺、障害者支援施設など、利用者の訓練フロアでの作業や、リハビリテーションセンター全館規模での停電を伴

う工事が実施される予定です。利用者の安全を最優先に、収入への影響など経営面にも配慮しながら工事を実施します。

また、障害者支援施設入所者のプライバシーの確保、新型コロナウイルス感染症対策として、居室の間仕切り工事も同時に行います。

## 3 経営戦略計画の推進、介護報酬・障害福祉サービス等報酬改定への対応など

第4次経営戦略計画（令和2年度から令和4年度）の初年度にあたる令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により達成が困難な成果指標がありました。令和3年度においても引き続き影響することが想定されますが、感染対策に配慮しながら推進に努めます。

また、令和3年度は介護報酬および障害福祉サービス等報酬が改定されますので、適切な対応に努めます。

さらに障害者支援施設については、令和3年4月1日より定員の変更を行いました（施設入所支援50人→40人、自立訓練（機能訓練）51人→55人）。

## 4 新型コロナウイルス感染症への対応

利用者の居住空間でもある病棟、障害者支援施設居室部分においては、引き続き健康管理や消毒、来所者の制限などにより感染防止に努めるとともに、各事業においては利用の制限、事業中止を行う一方、電話診療、リモートによる面会や訓練の実施などの対応をしていきます。またWEB会議システムを使った講座や会議の開催、イベントにおける動画での発信など、ICT（情報通信技術）を活用し工夫を続けていきます。

また愛知県・名古屋市からのワクチン接種施設としての協力依頼を受け、附属病院において事業団内および地域の医療従事者などへの接種を実施する予定です。



## 5 人材確保と人材育成、働き方改革への対応

今後とも事業団が質の高いサービスを提供し続けるためにも、人材確保と次世代の育成が必要です。新たに策定された第3期人材育成基本方針（令和3年度から令和7年度）に基づき、階層別の研修実施などに取り組んでいきます。

また令和2年度に引き続き、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に職員を派遣します。

「働き方改革」への対応については、引き続き業務の効率化を推進し、労働環境の適正化・改善に努めるとともに「同一労働同一賃金」の趣旨を踏まえた嘱託職員の労働環境整備に向けた準備を行います。

## 6 広報および研究活動の推進

事業団においては、近年、ウェブサイトやTwitter、広報誌などを活用し、広報活動に力を入れています。令和3年度は部署を超えた検討チームが中心となって、外部メディアの積極的な活用やInstagram・YouTubeを利用した情報発信を通し、事業団の専門性や取り組みを周知し、関係機関との連携や支援技術の普及・啓発を目指します。

またリハビリテーション研究基金による研究・業務関連研究の活用や他機関などとの共同研究を推進するとともに、その成果を積極的に情報発信します。



## 7 収支状況の改善

令和2年度に実施されたリハビリテーションセンター指定管理者の「中間評価」で指摘された「収支状況の改善」について、引き続き全職員に対し経営意識の醸成を

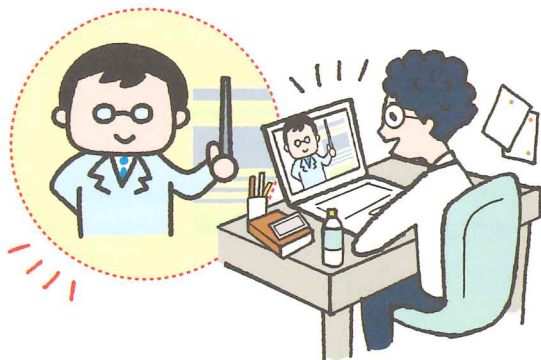
図るとともに、経営戦略会議などにより運営・稼働状況を把握し、効率的・効果的な事業運営を目指します。

# 高次脳機能障害 リハビリテーション講習会開催



今年度は令和3年1月25日(月)～令和3年2月7日(日)までの日程で、事前撮影した映像をオンデマンド配信することで開催しました。この講習会は、一般社団法人日本損害保険協会様の助成により全国各地で開催され、愛知県では平成15年度から毎年開催しているものです。当事業団も愛知県の高次脳機能障害支援拠点機関として、実行委員会に参画して企画・運営を行っています。

例年は市内の施設を借りて集合形式で開催していましたが、この講習会も新型コロナウイルス流行の影響を受け、集合形式での開催は見送りとなりました。全国では講習会開催自体を断念するところもあるなか、なんとか開催したいとの思いから、初の事前撮影によるオンデマンド配信形式での開催となりました。



また例年、第一部には講師をお招きして基調講演、第二部は当事者体験談などのプログラムで実施していましたが、今年度は集合できないため第二部のプログラムはカットし、講師による講演と質問コーナー(事前に募集した質問への回答)という内容で開催しました。

今年度は「親亡き“前”から始める地域生活のススメ」と題し、社会福祉法人むそうの理事長である戸枝陽基さまにご講演いただきました。戸枝さまは、社会福祉法人むそうとNPO法人ふわりという2つの法人を経営しながら、障害者のノーマライゼーションに積極的に取り組まれている方で、その取り組みが評価され令和元年度総務省のふるさとづくり大賞を受賞されています。

講習の中では、当事者の視点、家族の視点、支援者の視点から親亡き“前”に準備しておくべきことについて解説されたことはもちろんのこと、支援者として地域とのつながりを高めていくことでお互いに受け入れ合えるような地域づくりを進めていくことなどを非常に分かりやすく説明していただきました。これまでの戸枝さまの取り組みについても説明があり、その姿勢については学ぶべきことが非常に多かったと感じました。

今回は初のオンデマンド開催ということもあり、事前準備や撮影、配信後のことなど例年と違うことが多々あり非常に戸惑いました。しかしなんとか開催することができてとても貴重な体験となりました。

すでに来年度の講習会についても検討が始まっていますが、まだまだ新型コロナウイルスの影響は収まったとは言いきれず、どのような開催形式になるのかは決まっていない状況です。

少しでも早く新型コロナウイルスの影響が収まり、マスクを外して顔と顔を合わせてお話ができることを願っています。

## リハビリテーション研究基金について

より高度なリハビリテーション技術の研究開発を推進し、市民福祉の向上に寄与することを目的に、リハビリテーション研究基金を設け、市民の皆さまからの寄付金を積み立てています。障害のある方一人ひとりの自立と社会参加を進めるため、その積立金から発生する利子をもとに以下のような研究事業を行っています。



高次脳機能障害の病態と治療に関する研究

リハビリテーション技術の研究

福祉機器の開発

リハビリテーション関係者に対する研修・教育

### 最近の研究成果

- 反復経頭蓋磁気刺激による片麻痺患者治療の脳糖代謝におよぼす影響
- 脳循環代謝測定量測定法( $[^{15}\text{O}]\text{GAS-PET}$ )における完全無採血量法の導入に関する基礎的検討
- ロボットスーツHAL<sup>®</sup>医療用下肢タイプによる訓練効果に関する研究—パーキンソン病患者における検証—

## 今年度助成金は2件の応募があり、採択されました。

- 1 パーキンソン病関連疾患患者の病態研究
- 2 脳損傷者の自動車運転再開における包括的評価システムの構築

## 寄付金に対する所得税や法人税の優遇措置について

**個人の場合** 所得税法(第78条)の規定により、寄付金控除を受けられます。

**法人の場合** 法人税法(第37条)の規定により、一定の限度内で損金算入を受けられます。

※社会福祉法人に対して支出した寄付金については、一般の損金算入(一般寄付金)の枠の他に、これと同額枠の特別損失算入枠が認められ、限度額が大きくなっています。

### 寄付金の受付・お問い合わせ先

社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団  
事務局 総務部 業務課

# 事業団職員大募集

## 「私たちと一緒に働きませんか」

### ▶ 現在募集中

正規職員

看護師

嘱託職員

嘱託栄養士、調理補助、  
嘱託作業療法士



病院直営  
です！

職場見学  
大歓迎

お問い合わせ  
はこちら

### お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団  
総務部総務課 採用担当  
〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話番号 052-835-3811

最新の募集情報、待遇等の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

正規職員募集  
についてはこちら



嘱託職員募集  
についてはこちら



### 事業団ウェブサイト

<http://www.nagoya-rehab.or.jp>

事業団公式HP▶



### 事業団公式Twitter

名古屋市総合リハビリテーション事業団@公式  
➔ @nagoya\_rehab

## 事業所案内

- ・名古屋市総合リハビリテーションセンター
- ・福祉スポーツセンター
- ・障害者就労支援センター めいりは  
〒467-8622  
名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2  
電話：052-835-3811 FAX：052-835-3745

- ・瑞穂区障害者基幹相談支援センター
- ・地域活動支援センター つきみがおか  
〒467-0035 名古屋市瑞穂区弥富町月見ヶ岡5  
NTT西日本八事ビル1階  
電話：052-835-3848 FAX：052-835-3743

### なごや福祉用具プラザ

〒466-0015  
名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1  
御器所ステーションビル3F  
電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

### 名古屋市障害者スポーツセンター

〒465-0055  
名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地  
電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370